



大会テーマ

「ファミリーホームの限界と可能性」

～児童福祉法改正後を展望して～

令和4年9月6日(火)

9:30～16:30

ZOOM の オンライン開催

ファミリーホームの制度化(2009(平成21)年)から13年を経過する中で、我が国の子どもと子育てを取り巻く状況は大きく変化し、社会的養護の制度も大きく様変わりしようとしています。ファミリーホームには大きな役割が期待される一方で、様々な課題が山積していることも事実です。そして、2022(令和4)年には児童福祉法の再改正が予定され、社会的養護システム全体のあり方と共にファミリーホームの今後が問われているところです。

そこで本研究大会は、社会的養護の制度とファミリーホームに関わる法改正を正しく理解し、「今後のファミリーホームはどう変わり、ファミリーホームには何ができるのか」という議論を展開することにいたしました。また、そこから「より良い子どもの未来を展望する」大会にしたいと考えます。昨年同様のオンラインによる1日開催となりますが、名古屋大会として特色ある大会を目指して準備中です。たくさんの皆様のご参加をお待ちしております!

テーマ

子どもの権利としての社会的養護
—子どもの「今」を保障する—

講師(仮)
谷口 由希子 氏
(名古屋市立大学 准教授)



www.japan-familyhome.org

参加費
無料

会場：主会場 愛知東邦大学(名古屋市名東区平和が丘3-11)

参加申込：日本ファミリーホーム協議会HPでお知らせします。

日程(案)

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|-------|-------|-------|-----------|--------|-------|-------|
| 9:00 | 9:30 | 9:45 | 10:00 | 11:00 | 12:30 | 13:15 | 14:00 | 15:45 | 16:30 |
| 準備 | 開会式 | 大会 | 行政説明 | 基調講演 | 休憩 | 社会的養護とFH | シンポジウム | 閉会式 | |
| 受付 | | 挨拶 | | | | 編集委員会対談企画 | | 次年度案内 | |

※大会期間中(1週間程度)のオンデマンド講座を配信予定!



日程や開催内容等は、変更になる場合がございます。
詳しい参加申込の方法は、日本ファミリーホーム協議会のHPに掲載しますので、そちらをご確認お願いいたします。



主催：日本ファミリーホーム協議会
ファミリーホーム全国研究大会



令和4年度

第16回ファミリーホーム全国研究大会要項 (一部抜粋)

1. 大会テーマ 「ファミリーホームの限界と可能性 ～児童福祉法改正後を展望して～」
2. 研究大会趣旨 (チラシ表面参照)
3. 基調講演 講師 谷口 由希子 氏 (名古屋市立大学 准教授)
4. 開催日時 令和4年9月6日 (火) 9:30~16:30
5. 開催方法 ZOOMによるオンライン開催 (一部ハイブリッド・オンデマンド配信)
オンライン主会場 愛知東邦大学 (名古屋市名東区平和が丘3-11)
6. 参加費 無料
7. 研究大会日程
9:00 9:30 9:45 10:00 11:00 12:30 13:15 14:00 16:00 16:30
準備 開会式 大会 行政説明 基調講演 休憩 社会的養護とFH シンポジウム 閉会式
受付 挨拶 編集委員会対談企画 次年度案内
8. オンデマンド講座 (大会期間中の約1週間オンデマンド配信講座を公開予定)
9. 参加対象者
・ファミリーホーム関係者・行政児童相談所関係者・社会的養護施設関係者・里親・研究者
・学生・その他、ファミリーホームに関心がある人
10. 主催・後援 (予定)
(1)主催 一般社団法人日本ファミリーホーム協議会・名古屋市ファミリーホーム協議会
(2)後援 ・厚生労働省 ・名古屋市 ・全国里親会 ・全国社会福祉協議会 ・愛知東邦大学
・全国児童養護施設協議会 ・全国乳児福祉協議会 ・全国自立援助ホーム協議会 ・全国児童家庭支援センター協議会 ・全国子ども家庭養育支援研究会 ・子どもの家庭養育推進官民協議会 ・全国家庭養護推進ネットワーク ・中日新聞社会事業団
11. 参加申し込み方法 メールによる申し込みとする (補助的にFAX受付窓口を設ける)
参加申し込みアドレス: fh.nagoya2022@gmail.com (FAX:0569-89-0184)
12. 大会申し込み受付期間 令和4年7月1日 (金) ~8月31日 (水)